



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年 8月13日 No.188

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

セメント町という 地名がある 山陽小野田市

でまえじゆぎょう おとす こうようしょうがっこう あさとしよかん さんようおのだし ちゅうしん
 出前授業で訪れた厚陽小学校や厚狭図書館のある山陽小野田市は、セメントを中心とした
 こうぎょう はってん し じんぶつ かさいじゆんはち ちようしゅうはんし いえ う
 工業で発展した市です。そのさきがけとなった人物が笠井順八です。長州藩士の家に生まれ、
 めいりんかん まな ゆうしゅう せいせき いえがら さべつ きら たいがく とうがく まな
 明倫館に学びました。優秀な成績でしたが、家柄による差別を嫌い、退学して独学で学びました。
 はん ざいせい とほく しごと おこな いしんご やまぐちけん さんぎょうはってん こしやく きゅうさい
 藩の財政や土木の仕事を行い、維新後も山口県の産業発展につくしました。その後、士族の救済
 とセメントの国産化を目指し、セメント製造会社を設立しました。また、公共事業を進め、地域の
 こくさんか めざ せいぞうがいしゃ せつりつ こうきよじぎょう すす ちいみ
 発展に貢献しました。セメント工業については、山陽小野田市歴史民俗資料館で学ぶことができます。
 かがくこうぎょう やくひん い つか ようき りゅうさんびん せいぞう だん のほり がま かんげい
 また、化学工業で薬品を入れるのに使われた容器「硫酸瓶」の製造に、「旦」の登り窯が関係
 しますが、窯を開くのに幕末の志士、前原一誠の父佐世彦七が支援しています。参考文献『笠井順八とその時代』川野豊彦



笠井順八翁像

3mセメント像(若山公園)



徳利窯(とっくりがま)

最初のセメント焼成堅窯



「旦」の登り窯

前原一誠旧宅址



山陽小野田市歴史民俗資料館

さんようおのだししゅうしん はくまつ かつやく じんぶつ きじまたたへえ あさぐんにしたかどまりむら けんざい
 山陽小野田市出身で幕末に活躍した人物に、来島又兵衛(1817~1864)がいます。厚狭郡西高泊村(現在
 たかす きだむらけ う ようしやう こう かんじよ こ あつ たけやあそ ねっしゅう ながとし
 高須)の喜多村家に生まれ、幼少の頃から近所の子どもを集めて竹槍遊びに熱中していました。長門市
 たわらやま きしまけ むこうし んい しにあつちやう しんきよ かまえ ねん はん めいれい
 俵山の来島家に婿養子として入り、美祢市西厚保町に新居を構えます。1863年に、藩の命令により
 りょうし あつ そげきだい ひき きやうと はい はちがじゅうはちにち せいあん ちようしゅうはん きやうと ついほう
 猟師を集めた狙撃隊を率いて京都に入りますが、八月十八日の政変で長州藩は、京都から追放されて
 しまいます。萩に戻ると、高杉晋作が創設した奇兵隊に影響されて、遊撃隊を組織し総督として国事に
 あたりました。1864年に長州藩は京都での勢力を取り戻すために、軍隊を京都に向かわせます。
 またたか せんそ かつちゅう み けい けい へい ひき だたか きやうと ごしよ おお
 又兵衛は先祖からの甲冑を身につけ、遊撃隊600名の兵を率いて戦いました。京都の御所での大き
 たたか きんちん へん てきだい さつまはんへい そげき むね う みすか いのち た
 な戦いとなった禁門の変で、敵対した薩摩藩兵の狙撃で胸を撃ちぬかれ、自ら命を絶しました。
 ちようしゅうはん たたか あと いちどとうばくうんどう はな たかすぎんざく はたら とうばく ちゅうしんてきやくわり
 長州藩はこの戦いの後、一度討幕運動から離れますが、高杉晋作らの働きにより倒幕の中心的役割
 を果たすこととなります。参考文献『来嶋又兵衛傳』三原清堯



来島又兵衛肖像
部分(山口博物館蔵)



来島又兵衛誕生の地
(山陽小野田市高須)



来島又兵衛の碑
(山口市亀山町)
山口サビエル記念聖堂前



山口博物館では、来嶋又兵衛肖像を収蔵しています。ホームページで高画質画像が見られます。